

●世界の主な地震

平成 29 年（2017 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。



図 1 平成 29 年（2017 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 平成 29 年（2017 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	06日17時03分	N11° 6.7'	E124° 37.2'	7			6.5	フィリピン諸島レイテ島		○	
2	11日16時00分	S49° 28.8'	E164° 1.5'	10			6.6	オークランド諸島付近			
3	13日04時48分	N40° 51.8'	E131° 55.4'	603		6.3	(5.8)	日本海西部			
4	13日12時36分	S04° 47.3'	E153° 9.6'	47			6.4	パプアニューギニア、ニューアイルランド		○	
5	17日20時05分	N54° 35.0'	E168° 38.8'	10			6.3	コマンドル諸島付近			
6	18日08時34分	N54° 28.3'	E168° 48.9'	11			(7.7)	コマンドル諸島付近			○
7	18日11時05分	S16° 24.1'	W073° 36.2'	44			6.4	ペルー沿岸付近			
8	21日07時31分	N36° 55.5'	E027° 24.8'	7			6.6	ドデカネーゼ諸島	死者2人、重傷7人等		

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2017 年 8 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所)、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

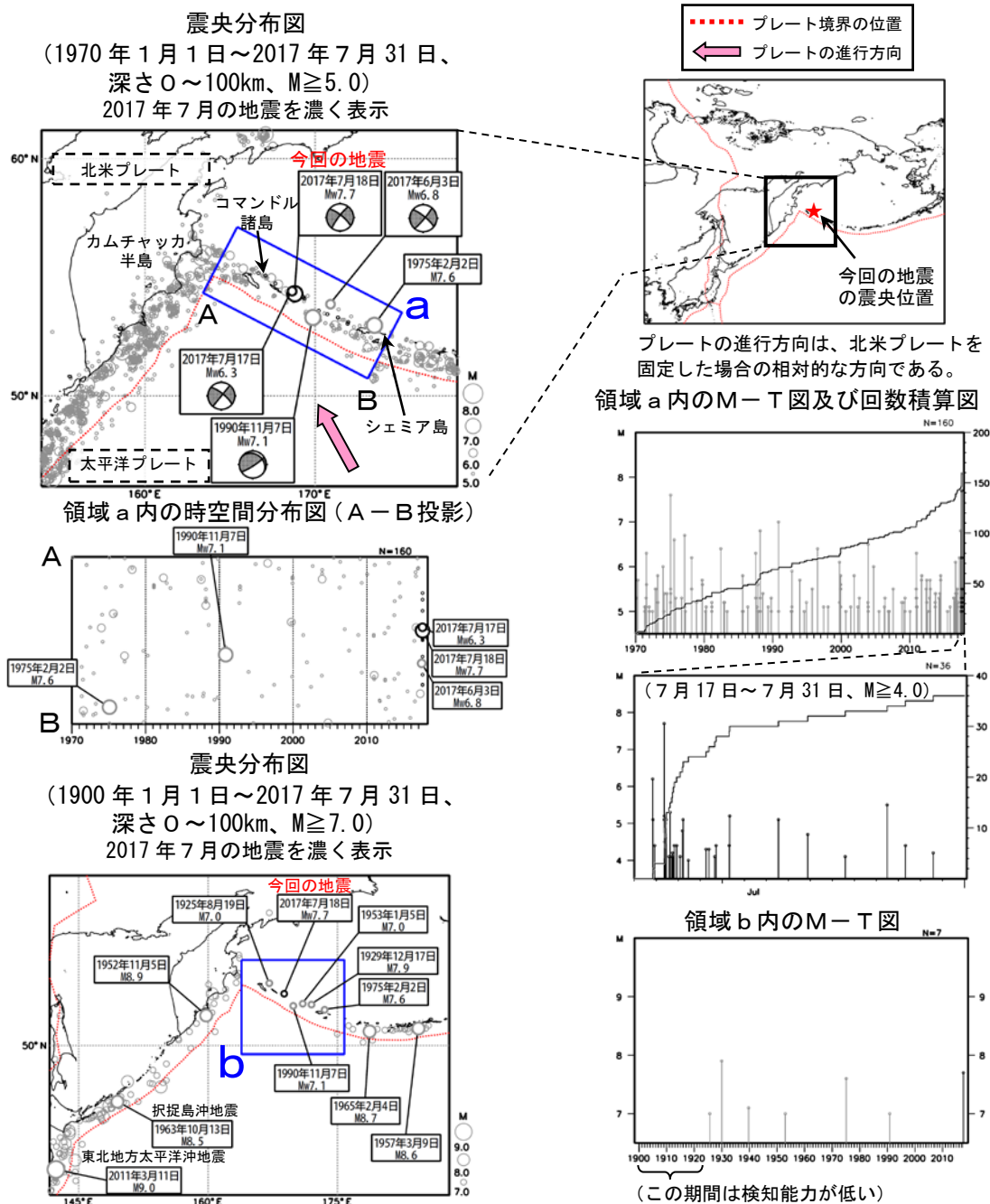
7月18日 ロシア、コマンドル諸島の地震

2017年7月18日08時34分（日本時間、以下同じ）に、ロシア、コマンドル諸島でMw7.7の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の発生前日には、ほぼ同じ場所でMw6.3の地震が発生している。その後、今回の地震を中心に北西-南東方向にやや広い範囲で地震活動が活発になっている。

気象庁は、この地震について同日08時59分に遠地地震に関する情報（日本への津波の有無について調査中）、同日09時55分に遠地地震に関する情報（日本への被害の心配はなし）を発表した。この地震によりシェミア島で9cmの津波を観測した。

1970年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6を超える地震が時々発生しており、今回の地震から東南東方向に約350km離れた場所で、1975年2月2日にM7.6の地震が発生し、負傷者15人等の被害が生じている。

1900年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M7を超える地震が今回の地震も含め、7回発生している。アリューシャン列島周辺では、M8を超える地震も時々発生しており、過去には日本でも津波を観測する地震がいくつか発生している。



※本資料中、今回の地震の発震機構とMwは気象庁による。2017年6月3日、7月17日の地震の発震機構は米国地質調査所(USGS)、その他の地震の発震機構及びMwはGlobalCMTによる。その他の震源要素は、1900年から1969年までは国際地震センター(ISC/GEM)、1970年以降はUSGSによる。今回の地震の津波の観測値は、アメリカ海洋大気庁(NOAA)による。1975年2月2日の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向はBird(2003)*より引用。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.